

選手と応援団。思いをひとつに…

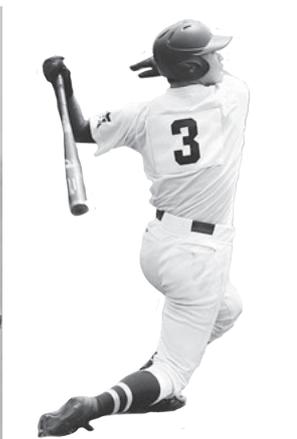


西尾市野球界の歴史にその名を深く刻む

西尾東高校野球部、 夢と感動をありがとう！

7月1日～27日に開催された第100回全国高校野球選手権記念東愛知大会で、西尾東高校が堂々の準優勝を収めました。夢の甲子園出場まであと一步届きませんでした。が、シード校を次々と破る快進撃ぶりは高校野球ファンのみならず、多くの市民を魅了しました。準決勝戦以降の勇姿を写真で振り返ります。





準優勝はチームが一丸となって戦った結果。勝ち上がるごとに強くなれた。惜しかったが、良くやってくれた（寺澤康明監督）

今大会の軌跡

みんなに応援してもらえて
幸せでした（富田智喜主将）



- **2回戦・新城高校戦**…17対1。4回裏に猛打がさく裂。1イニング10得点を挙げ、貫録の5回コールド勝ち
- **3回戦・豊橋東高校戦**…8対7。9回2死までリードを許すが、木村優友選手の一振り逆転サヨナラ勝ち
- **4回戦・西尾高校戦**…12対5。初回に5失点するも、直後から点を積み重ね、7回コールド勝ち。多くの注目を浴びた「西尾ダービー」を制する
- **準々決勝戦・豊橋中央高校戦**…7対3。7回裏に中村隼人選手が3ランホームラン。チャンスを生かし、シード校を撃破。3度目のベスト4入りを果たす
- **準決勝戦・豊川高校戦**…10対3。エースの磯村翔吾選手が好投、強豪・豊川を封じ込める。木村優友選手の一打で7回コールド勝ちを決める。初の決勝進出
- **決勝戦・愛産大三河高校戦**…1対3。2回に先制するも、7回に逆転を許す。9回の攻撃でしぶとく粘りを見せるが相手投手の好投に阻まれ、試合終了